

『最上地域の豊富な資源を活用した再生可能エネルギーで地産地消を！』

本事業は、地域が主導して、再生可能エネルギー導入を強力に進める為に必要な、地域に適した再生可能エネルギーの選択(導入)、持続性のある事業計画の策定(事業化)、地域の住民が参加できる環境の整備を行う為の地域推進体制を構築することを目指します。

日時：2013年11月28日(木) PM1時半～

場所：新庄信用金庫本店6階大ホール

参加申し込み締め切り：2013年11月25日(月)



【第Ⅰ部】講演 飯田哲也氏

認定NPO法人 環境エネルギー政策研究所(ISEP) 所長

「自然エネルギーの現状と日本の動向」

～コミュニティーパワーの発揮に向けて～

【飯田哲也氏 プロフィール】

1959年、山口県出身、京都大学大学院工学研究科原子核工学専攻修士課程修了、東京大学大学院先端科学技術センター博士課程修了。原子力産業や安全規制に従事後、「原子カムラ」を脱出、北欧(スウェーデン・ルンド大学)での研究活動や非営利活動を経て、2000年、認定NPO法人環境エネルギー政策研究所(ISEP)を設立。国や数多くの地方自治体の審議会委員や特別顧問を務め、東京都・大阪府・長野県など数々の政策イノベーションを実現してきた。世界中で自然エネルギーの飛躍的な普及を実現した、FIT(固定価格買取制度)を1998年に草稿して超党派議員に働きかけ、14年越しで成立させた立役者として知られる。世界中の自然エネルギー関係者とネットワークを持ち、「第四の革命」と呼ばれる自然エネルギーの最新動向を国際共同研究を重ねつつ、北海道の市民風車や長野県飯田市のおひさまファンド、グリーン電力など社会イノベーションも生み出した。2011年9月には、孫正義に付託されて、「自然エネルギー財団」設立の中心を担った。



【第Ⅱ部】パネルディスカッション

「最上地域における木質バイオマスの利活用とその可能性について」

最上地域では行政主導で木質バイオマスの事業化が進んでいるが、企業や一般家庭までの普及には多くの課題が有るのも事実です。最上町や金山町の実践例を中心に、地域での今後の可能性と挑戦を地域でのトップリーダーが熱く語る。

コーディネーター：東北芸術工科大学建築・環境デザイン学科准教授 三浦秀一氏

パネラー：最上町長 高橋重美氏

：金山森林組合参事 杉井範之氏 他

アドバイザー：認定NPO法人環境エネルギー政策研究所所長 飯田哲也氏

主催：最上地域再生可能エネルギー協議会、特定非営利活動法人バイオマスもがみの会

共催：山形県最上総合支庁、新庄信用金庫

最上地域再生可能エネルギー協議会 講演会

【申し込み締め切り】平成25年11月25日(月)

【参加料】 無料

【申し込み方法】

講演会に参加を希望の方は、下記の参加申込書にご記入の上、FAX又は郵送でお申込みください。複数の希望者の一括申し込み(〇〇町 5名など)やお電話でのお申し込みはご遠慮ください。

【お問い合わせ・申し込み先】

◎特定非営利活動法人バイオマス最上の会

〒996-0033 新庄市下金沢町10-10 TEL・FAX:0233-23-1955

◎最上総合支庁 総務企画部 地域振興課

〒996-0002 新庄市金沢字大道上2034

TEL:0233-29-1240 FAX:0233-23-2615

最上地域再生可能エネルギー協議会 講演会参加申し込み

所属	職名	氏名

※御記入いただいた個人情報は今回の講演会のみで使用させていただきます。

今回の講演会への質問・ご意見などありましたらお書きください。

